

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名		公民館活用推進事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系				根拠法令計画など	社会教育法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 16年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと				
(小項目)		生涯学習			終期	未定
施策	1	生涯学習の推進				
基本事業	2	公民館活動の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	公民館を地域活動の拠点として実生活に即した教育、学術、文化に関する各種事業を行い、地域住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	平成27年度においても、公民館運営については監理業務の一部を地域に委託し、地域住民の意見を尊重しながら、個々の特色を生かした独自性を持って進められる体制を継続する。 耐震性能診断の結果、耐震性能を満たしていないと判断された3館(斎田・大津中央・堀江)について、平成28年度に耐震補強工事設計を実施するための協議を行う。大型公民館9館にAEDを設置する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		公民館の利用人数	82,500	83,000	83,500	84,000	84,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①自治振興会等へ日常的な施設管理業務の一部を委託(大型公民館9館)。 ②ア. 板東公民館小型電気温水器修繕、イ. 北灘公民館エアコン修繕、ウ. 川東公民館自動ドアエンジン装置修繕、エ. 斎田公民館駐車場舗装修繕、オ. その他設備の修繕。 ③社会教育指導員と連携した学級の企画運営の実施。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 公民館で開催している学級数	16	15	16	16	16	学級
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	公民館の利用人数	82,540	81,616	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)		98.3	-	-	-	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	689	24,268	24,957
		全体予算額		0	0	0	689	24,268	24,957
		決算額		0	0	0	700	23,551	24,251
		繰越額		0	0	0	0	0	0
		人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費	
			0.2	0.0	1,372	25,623			

【事務事業名：公民館活用推進事業】
(千円)

事業費推移	年 度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	30,745	24,251	33,469	-	-
	うち一般財源	30,745	23,551	25,469	-	-
	人件費	1,376	1,372	1,372	-	-
	総事業費	32,121	25,623	34,841	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	空調設備や自動ドアの修繕等により、利用者が利用しやすい環境づくりにした。
	効率性	B:概ね効率的だった	地域との協働による公民館管理運営体制が定着したことにより、より地域に密着した効率的な公民館利用につながった。
②成果に対する評価	指標名	公民館の利用人数	
	目標	83,000	人
	実績	81,616	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	
		目標達成率は98.3%となり概ね達成できた。	
③総合的な評価		B	公民館活動が活発に実施され、設備等の修繕環境整備も実施できたことからB評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	公民館管理運営や各種行事に携わる地域住民の高齢化が進んでいる。今後は、幅広い年齢層が公民館管理運営に携わることができる環境の整備が課題である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	引き続き、地区自治振興会などと公民館業務の一部委託をおこない、公民館を地域活動の拠点としていく。 生涯学習施設として、各種学級事業とも連携しながら、地域住民の多様な学習機会の提供と自主的な学習活動の支援を進める。また、新たな利用者の発掘のため、新2講座を計画する。 耐震性能診断で耐震性能を満たしていない3館(斎田・大津中央・堀江)の耐震補強設計を行う。			
	平成29年度	引き続き、地区自治振興会などと公民館業務の一部委託をおこない、公民館を地域活動の拠点としていく。 生涯学習施設として、各種学級事業とも連携しながら、地域住民の多様な学習機会の提供と自主的な学習活動の支援を進める。。			